

現場で確かめ、アイデアで変える。 水道の仕事は、進化している。



上下水道技術 技査補

経歴

- ・令和5年4月～
管路管理課
- ・令和7年4月～
お客さまサービス課 給水サービス係

Q.あなたの仕事を教えてください。

私たちの暮らしに絶対に欠かせないインフラ、それが「水」です。

私は今、市民の皆さんのもとへ安全に水が届くように、水道工事が正しく行われているかをチェックする検査業務を担当しています。

日々の仕事の中心は、給水装置工事の「竣工検査」です。「図面通りに配管されているか?」「適切な施工がされているか?」を、現場でじっくり確認します。

デスクに戻ってからは、システムへのデータ入力や、窓口での受付、工事業者さんとの翌日のスケジュール調整といった事務作業を行います。

最近では、「業務のDX化」にも携わっています。市民の方々がよりスムーズに手続きができるよう、電子申請システムのカスタマイズ構築案を作成しているのですが、自分のアイデアが新しい標準になっていくことに、やりがいと面白さを感じています。

Q.市役所を選んだ一番の理由は何ですか？

自分が生まれ育った地域を、専門技術を活かしてより良くしたいと思ったからです。

高校や前職の民間企業で培った技術で、市民の安全な暮らしを最前線から支えられる点に、何よりの魅力を感じました。

生活に必要な不可欠なサービスを安定して提供するという使命感、そして今後予測される災害への対策も含め、「市民のために最前線で力を尽くしたい」と考えたことが決め手になりました。

Q.技術者として面白い瞬間は？

技術者としてのやりがいは、自分の専門知識を反映させた設計図面が、現場と一体となってカタチになっていく瞬間です。

自分の描いた設計図面通りに施工が進む姿は、技術者としての喜びだと思います。

また、施工中にトラブルに直面することもあります。それもこの仕事の面白さだと感じます。

先輩方の意見も聞き、業者さんと知恵を出し合って解決策を生み出した瞬間です。

Q.あなたの部署はどんな雰囲気ですか？

フラットで開放的な雰囲気です。

上司や先輩が常に若手の状況を気にかけてフィードバックをくれるので、一人で悩みを抱え込むことなく、安心して着実に成長できる環境だと実感しています。

年齢に関わらず若手の意見もしっかりと聞き入れてくれますし、複数の係があっても互いの知識を出し合って協力する体制が自然とできているので、チームワークは抜群です。

Q.休日の過ごし方や趣味は？

週末は体型を維持するため、ランニングをしています。

ゴルフも趣味で、他部署の先輩方ともコースを回っています。コミュニケーションにもなり、山の中で体を動かすのは、良いリフレッシュになっています。

家族や友人と楽しい時間を過ごし、日々の疲れを癒しています。

ある1日のスケジュール

08:30 朝礼

課内で重要な情報を共有し、1日をスタートします。

09:00 竣工検査（現場）

現場に行き、水道給水装置の竣工検査をします。

11:00 事務処理・データ入力

検査書類の整理やシステムへのデータ入力を行います。

12:00 昼食

昼休憩は、いつもお弁当を持参していますが、たまに外食を同僚と利用することもあります。

13:00 竣工検査（現場）・窓口対応・資料作成

午後も、竣工検査をします。検査がないときはデスクで書類の審査をします。

窓口で検査の受付けや、業務DX化に向けた資料作成も進めます。

16:00 翌日検査の配分および業者へ連絡

翌日の検査件数を確認して担当者へ配分し、各業者へ時間連絡を行います。連絡後は、完成図面や写真の事前確認をします。

17:15 退庁

翌日の予定とメールを確認し、急ぎの業務がないことを確認して退庁します。

未来の後輩へのメッセージ

上下水道局では、事務職から技術職まで色々な職種がありますが、どれも市民のために欠かせない仕事です。

窓口や現場で、直接住民の方や業者さんと接するなかで、色んな意見をいただくこともあり、毎日が勉強の連続です。そうした経験こそが自分の知識を増やし、視野を広げてくれます。

最初は、覚えることも多くて不安になるかもしれませんが、一歩ずつ進んでいけば、頼れる先輩たちが必ずサポートしてくれます。